

予 算 要 求 資 料

令和 3 年度当初予算 支出科目 款：衛生費 項：保健予防費 目：成人病予防費

事業名 乳がん検診受診率向上事業費

(この事業に対するご質問・ご意見はこちらにお寄せください)

健康福祉部保健医療課健康推進室がん対策係 電話番号：058-272-1111 (内 2550)

E-mail：c11223@pref.gifu.lg.jp

1 事業費 1,224 千円 (前年度予算額： 1,224 千円)

<財源内訳>

区 分	事業費	財 源 内 訳							
		国 庫 支出金	分担金 負担金	使用料 手数料	財 産 収 入	寄 附 金	その他	県 債	一 般 財 源
前年度	1,224	612	0	0	0	0	0	0	612
要求額	1,224	612	0	0	0	0	0	0	612
決定額									

2 要求内容

(1) 要求の趣旨 (現状と課題)

・乳がんは、女性のがん死亡では最も多いがんであり、その治療期間もおおよそ 10 年と長く、薬物療法と放射線療法を併用して行うため、心身の負担とともに、医療費の負担も大きい。

がん検診で、がんを早期に発見し、早期治療につなげることで医療費の軽減にもつながると推測されるが、乳がん検診の受診率は目標の 50%に達していない。

がんに関する世論調査 (平成 28 年 11 月内閣府) では、がん検診を受けない理由として、「受ける時間がない (約 30%)」、「必要性を感じないから (約 30%)」と回答している者が多数を占めた。

このため、乳がん検診を体験する機会の増加や検診の必要性について情報提供していくことが必要である。

(2) 事業内容

乳がん検診車によるがん検診を実施するとともに、がん検診や生活習慣病のための健診について啓発し、県民の乳がんをはじめとするがんの早期発見、生活習慣病の発症予防と重症化予防を行う。

- ①イベント会場等における乳がん検診車によるがん検診の実施
- ②がん検診等についての普及啓発

(3) 県負担・補助率の考え方

第3次岐阜県がん対策推進計画に基づき推進される事業であり、県負担が適当である。

(4) 類似事業の有無

無

3 事業費の積算内訳

事業内容	金額（千円）	事業内容の詳細
旅費	8	業務旅費
需用費	210	事務消耗品、啓発グッズ作成
役務費	6	電話・郵送料
委託料	1,000	検診啓発委託（岐阜県厚生農業協同組合連合会予定）
合計	1,224	

決定額の考え方

4 参考事項

(1) 各種計画での位置づけ

第3次岐阜県がん対策推進計画

(2) 後年度の財政負担

国1／2、県1／2

(3) 事業主体及びその妥当性

実施主体は岐阜県厚生農業協同組合連合会（委託）

デジタルマンモグラフィ撮影装置を2台搭載した検診車を配置しており、イベント等において、より多くの乳がん検診の実施が可能である。また、検診機関としてがん検診の普及啓発活動も積極的に取り組んでいる。

事業評価調書

新規要求事業

継続要求事業

1 事業の目標と成果

(事業目標)

- ・何をいつまでにどのような状態にしたいのか
イベント会場等における乳がん検診車によるがん検診を実施するとともに、がん検診や生活習慣病のための健診について啓発する。

(目標の達成度を示す指標と実績)

指標名	事業開始前	現在値	目標	達成率
乳がん検診受診率(40～69歳) (国民生活基礎調査) *3年ごとの調査	43.4 (H25年)	47.8% (H30)	50%以上 (R5)	95.6%

○指標を設定することができない場合の理由

(前年度の取組)

- ・事業の活動内容(会議の開催、研修の参加人数等)
県イベントを活用した検診の普及啓発等の実施
- 乳がん検診(2方向)80人/2日間
- マンモグラフィー装置の説明・見学
- 乳がん検診の相談
- 検診受診啓発リーフレットの配布 等

(前年度の成果)

- ・前年度の取組により得られた事業の成果、今後見込まれる成果
イベント会場を利用することにより、がん検診を受診したことがない層に対し受診の啓発を行うことができた。
マンモグラフィー装置の見学会では、放射線技師より検査方法や装置の説明を行い、検査に対する不安や、検診車で気軽に精度の高い検診を受けることが可能であることを啓発することができ、定期受診への契機となった。

2 事業の評価と課題

(事業の評価)

<ul style="list-style-type: none"> ・事業の必要性（社会経済情勢等に沿った事業か、県の関与は妥当か） ○：必要性が高い、△：必要性が低い 	
(評価) ○	乳がんは、女性のがん死亡では最も多いがんであり、その治療期間も10年と長く、薬物療法と放射線療法を併用して行うため、心身の負担とともに医療費の負担も大きい。がんを早期発見し早期治療することで医療費の負担を軽減し、死亡を減らすことが出来るため必要性が高い。
<ul style="list-style-type: none"> ・事業の有効性（指標等の状況から見て事業の成果はあがっているか） ○：概ね期待どおり又はそれ以上の効果が得られている、△：まだ期待どおりの成果が得られていない 	
(評価) ○	イベント会場で実施することで、検診を受診したことの無い層に対し効果的に啓発することができる。
<ul style="list-style-type: none"> ・事業の効率性（事業の実施方法の効率化は図られているか） ○：効率化は図られている、△：向上の余地がある 	
(評価) ○	岐阜県厚生農業協同組合連合会は、デジタルマンモグラフィ撮影装置を2台搭載した検診車を配置しており、イベント等において、より多くの乳がん検診の実施が可能である。

(今後の課題)

<ul style="list-style-type: none"> ・事業が直面する課題や改善が必要な事項 目標値である乳がん検診率50%には達成しておらず、引き続き検診受診率向上に向けた啓発が必要である。

(次年度の方向性)

<ul style="list-style-type: none"> ・継続すべき事業か。県民ニーズ、事業の評価、今後の課題を踏まえて、今後どのように取り組むのか がんを早期発見し早期治療することで、医療費の負担を軽減し、死亡を減らすことが出来るため、今後も継続実施をしていく。
--

(他事業と組み合わせて実施する場合の事業効果)

組み合わせ予定のイベント又は事業名及び所管課	【○○課】
組み合わせて実施する理由や期待する効果 など	